

みんなで考えるきたかみ型地域包括ケア推進フォーラム

「幸せに歳を重ねるための心づもりを始めましょう」



8月11日にさくらホールにて市民向けフォーラムを開催し、市民や関係者210名の参加がありました。フォーラムコーディネーター中部病院星野彰医師のもと、講師に旭川医科大学病院阿部泰之医師をお迎えして『エンディングノートは一人で書きちゃだめ！～話し合っって決める人生の花道から』と題して自作の絵本や音楽を交え御講演いただきました。

人生の最終段階に関わる意思決定について、自分を知り、近しい人や大切な人との関係性を考え、具体的なことについて話し合っておくことが大切であるとお話されていました。講演終了後のアンケートでは、ほぼ全員から「講演会は役立った」と回答いただきました。来場された方は60代の方と女性が多く、リビングウイル(自分の終末期や死についての希望を文書に残しておくこともしくはその文書)を76%の方が準備しておきたいとしながらも、実際に事前に話し合っておくことについては、「切り出しにくい」、「きっかけがない」と多くの方が「難しい」と感じているようでした。

フォーラムをきっかけとして、今後も下記のとおり市民と専門職が連携する会を設け、引き続き心づもりについて考え合っていく予定です。

市民と専門職の顔の見える連携企画

幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会～encounter（出逢い）編～

8月に開催されたフォーラムの続編企画として勉強会を開催します。幸せに歳を重ねるための心づもりをしていくために、北上に必要なものはなんのでしょうか？市民と医療や介護等の専門職が学びあい、考えあいます。関心のある方は10/10まで 北上市役所 長寿介護課 住吉氏までお問い合わせください。

とき 平成29年10月17日（火）18：30～20：00

場所 さくらホール（北上市文化交流センター）小ホール

コーディネーター 岩手県立中部病院 星野 彰 医師

第2回 きたかみ生活相談員連携・交流会が開催されました

7月14日きたかみ生活相談員連携実行委員・在宅医療介護連携支援センター主催で北上済生会病院大会議室にて生活相談員連携・交流会が行われました。今回は、22名が参加して第1回の課題を踏まえて5つのテーマをもとにGWで話し合いを行いました。業務に関わる書類関係や困難対応、業務管理、多職種連携、事業所の広報活動など意見交換しました。自分たちの業務を振り返り連携の場から学ぶこともありました。短い時間の中でも有効な時間が持ち情報共有し質向上のため話し合いながら確認しておりました。



第3回連携会を開催します。日時：平成29年11月17日(金)18:30~20:00

場所：北上済生会病院 大会議室

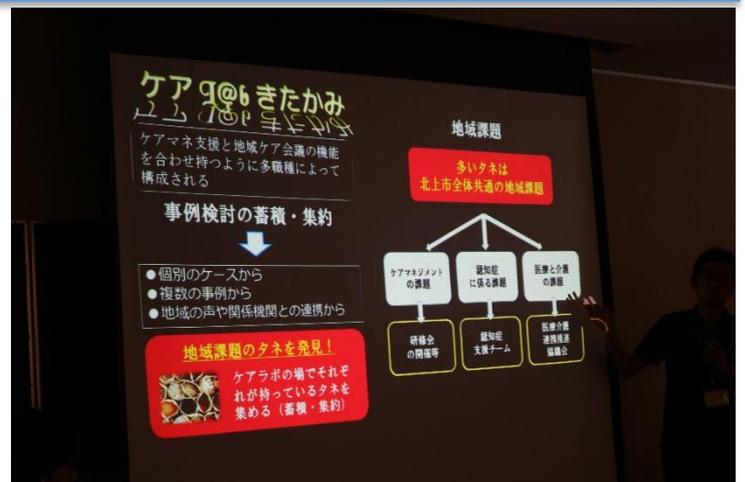
内容：KJ法によるグループワーク 2テーマ困難事例・多職種連携

複数のテーマに沿って気軽に情報交換を行いながら一緒に解決策を話し合い、相談員同士の繋がりを深める場所を目指しております。ぜひご参加ください。申し込み等詳細については後日案内するチラシをご覧ください。

第2回 きたかみ型多職種事例検討会

「ケアラボ@きたかみ」が開催されました

主催 北上市・北上市地域包括支援センター主任介護支援専門員・北上市在宅医療介護連携支援センター共催



7月20日北上市総合福祉センターにて第2回ケアラボ@きたかみを開催しました。主任介護支援専門員と多職種が集まり、解決や根拠の追求ではなく様々な「場」となる研修を目指して主任介護専門員のファシリテーション能力等のスキルアップを図る目的で行われています。多職種と意見交換、情報交換、知識や学習の場、交流の場、多職種の専門性を知る場、自分の仕事や役割を再認識する場、多職種連携の重要性を知る場、地域の現状を知る場となっています。第2回目となる今回は栄養士や薬剤師、作業療法士等様々な角度から2事例「自分らしく暮らしたいという97歳独身女性」「認知症の方や家族を支えるために必要なこと」について考えることが出来ました。専門分野の方の意見を聞いて知見を広げる場となりつつあると感じました。第3回ケアラボ@きたかみは10月19日弁護士をお招きしての開催となります。北上市総合福祉センター2階会議室で18時30分開始の予定です。多くの皆様の参加をお待ちしております。

地域医療研究会が開催されました

8月23日、岩手県立中部病院地域医療福祉連携室主催で平成29年度第1回地域医療研究会が岩手県立中部病院で行われました。「チームケア☆多職種連携☆地域ケア」というテーマで、下記について多くの方が参加しお話をされました。

- 地域包括支援センターわっこ主任ケアマネジャーの老林聖幸氏…『北上川型多職種事例検討会ケアラボ@きたかみ』
- 町立西和賀沢内病院の作業療法士高橋澄江氏…『当院の摂食機能療法の現状』
- あや歯科医院の院長高橋綾医師…『周産期医科歯科連携と3歳児う蝕有病率の変化』
- 北上済生会病院在宅医療支援センター長兼脳神経外科医長柴内一夫医師…『中部地域における急性期脳梗塞治療の試案』
- 北上済生会病院院長赤坂俊英医師…特別講演『北上済生会病院の将来構想と地域医療の思い』



「多職種連携による在宅における薬学的管理推進モデル事業」がスタートしました

9月27日、国のモデル事業「多職種連携による在宅における薬学的管理推進事業」の一環として、岩手県薬剤師会・北上薬剤師会主催による「患者のための薬局ビジョン推進事業に関する研修会」が北上市役所を会場に、開催されました。薬剤師48名、介護支援専門員や保健師等他職種27名の方が参加しました。岩手県薬剤師会熊谷明知専務理事から、地域包括支援センター等と連携し、薬学的サポートが必要とされる方に対し、薬剤師が保健師、介護支援専門員等と一緒に訪問し、お薬に関するアドバイスなどを実施していくという事業の目的について説明が行われました。ファースト調剤薬局伊藤貴文氏（北上薬剤師会在宅サポート部会長）から、北上地域モデル事業の実施方法、薬剤師の活用・連携のススメのお話の後、グループワークが行われました。その中で、ケアマネジャーや地域包括支援センターから薬が飲めない（飲まない）という相談が寄せられ、薬剤師のアドバイス、意見交換が行われました。

これから介護のエキスパートである地域包括支援センター本通り、いいとよ、北上中央、展勝地、わっことお薬のエキスパートであるエリア担当薬剤師の同行訪問がスタートします。北上市・北上市在宅医療介護連携支援センターはこの取り組みを支援していきます。



認知症高齢者の窓口対応に関する情報交換会が開催されました

9月8日、北上市長寿介護課・市内地域包括支援センター社会福祉士部会主催による、認知症高齢者の窓口対応に関する情報交換会が、北上市市民交流プラザを会場に開催されました。高齢者の窓口対応に関する金融機関からの相談が、年々増えていることから、金融機関現場で発生している、高齢者の困りごとについて共有し、必要な支援策の検討につなげる場づくりを目的に、情報交換が行われました。初めての試みでしたが、北上市内すべての金融機関（岩手銀行・北日本銀行・七十七銀行・北上信用金庫・東北労働金庫・日本郵便）の担当者が参加されました。地域包括支援センターから、業務内容の紹介、金融機関からの相談をきっかけに成年後見制度利用につなげることができた一人暮らしの方の事例が紹介されました。情報交換では、金融機関担当者から、通帳を度々なくし、お金のおろしてほしいと窓口へ何度も来る方への対応、何度説明しても理解できず怒り出してしまう方への対応について、あればよかったのか、ご本人の最善を考えるとどのように接することが良かったのかなど、意見が出されました。窓口対応での困りごとや心配な状況等がある場合、お元気訪問など、自然なかたちでご本人やご家族の支援に関わることができるので、まずは地域包括支援センターへ相談してほしいなどの意見が出されました。

第5回 北上在宅ケアネットワーク講演会



申し込みについてはすでにご案内済みの参加申込書にてお願いいたします

9月29日に北上医師会主催でさくらホールで「多職種連携による在宅医療の今とこれから」医療法人かがやき理事長総合在宅医療クリニック院長市橋亮一医師をお迎えして講演会が開催され、医療介護多職種78名が参加しました。

市橋先生は介護支援専門員の資格もお持ちで、「利用者に生命レベル、生活レベル、人生レベルで関わっていくことが大事で、そうして丸ごと支えるには一人ではできない。」「人は多面体であるので、様々な職種が連携してその人を理解する必要がある」と多職種連携の必要性をお話されました。さらに、音楽療法士と連携事例、医療職と連携するタイミングと情報の伝え方、一人が2つ3つとライセンスを取得できるよう環境支援を行うという方法での人材不足解消の取り組み、利用者情報を一冊のファイルにまとめて利用者宅に置くという多職種が情報しやすい取り組み等、具体的で参考となる事例をたくさん御紹介していただきました。

平成29年度岩手県在宅医療人材育成基盤整備事業

「患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会」開催のご案内

対象：人生の最終段階における

医療の決定プロセスの意思決定支援に関わる専門職

日時：第1回 平成29年11月18日(土)13:00～16:50 「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインに基づいた意思決定」

第2回 平成30年1月20日(土)13:30～17:00 「アドバンス・ケア・プランニングの手順」

*各回ともグループワーク・ロールプレイを入れた実践的な研修です。

場所：北上済生会病院 大会議室 参加可能人数：各回共に30名

主催：北上医師会 共催：北上在宅医療介護支援センター

編集後記：北上市在宅医療介護支援センターはホームページの立ち上げを準備しております。北上市の長寿介護課と「在宅きたかみ」というネームを使っていきたいと考えております。在宅医療介護連携に関することで相談ありましたらご連絡ください。

発行：北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市花園町一丁目6-8

(北上済生会病院管理棟2階)

TEL：0197-88-3011 FAX：0197-88-3012

在宅きたかみ

北上市在宅医療介護支援センター